

ふるさとと公社改革

（一社）遠野ふるさと公社が管理していた施設の一部を、（株）遠野ふるさと商社が運営することが決定し、ふるさと公社の経営改革が本格始動！
改革の概要をお知らせします。

遠野ふるさと公社の 経営改革が本格スタート

昭和59年に設立されて以来、地域の人々と共に遠野の産業を支えてきた一般社団法人遠野ふるさと公社（以下、ふるさと公社）。近年は厳しい経営状態が続く、市は、平成28年から抜本的な経営改革を検討してきました。本年4月10日、市は、地域経済活性化支援機構（略称、REVIC）が設立した株式会社観光産業化投資基盤、岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、花巻農業協同組合と連携協定を締結。新しい経営人材を招いて経営陣を刷新し、ふるさと公社の経営改革を推進。6月市議会定例会で公社と商社への分社化する改革案が可決され、本格的に改革がスタートしました。

ふるさと公社が管理していた道の駅「遠野風の丘」と伝承園は株式会社遠野ふるさと商社（以下、ふるさと商社）が管理・運営。遠野ふるさと村とたかむる水光園はふるさと公社が引き続き運営することとなりました。両社は、ふるさと商社を中心に連携しながら経営改善を図ります。ふるさと商

社は連携協定を結んだ各団体から支援を受けながら利益を拡大。ふるさと公社は適正な規模での運営などによって収支の改善を目指します。2社体制で改革は進みますが、公社の職員は全員ふるさと商社に所属。ノウハウの共有など一体的な改革を行います。

経営改善後は一本化し 地域全体の賑わいを創出

経営改善後、4施設は全てふるさと商社が担う方針。ふるさと商社は、地域経済をけん引する地域商社機能を強化しながら地域の観光推進組織としての取り組みを加速。観光振興と物産振興の両面から賑わいを創出し、本市の地域経済全体の活性化に向け、歩みを進めていきます。



8月19日、ふるさと商社の総会が開かれ、決意を新たにする関係者ら

●インタビュー



株遠野ふるさと商社
代表取締役社長

杉村 亮 さん

REVIC地域活性化支援部シニアマネージャー

他に類を見ない
遠野の魅力を磨く

遠野は、『遠野物語』で伝えられるような「文化遺産」だけではなく、ホップやジンギスカンなどの「食」、風光明媚な「自然」など観光資源の原石が多くあるのが魅力。今は個々で懸命に磨き上げている印象ですが、時間をかけて戦略的に連携を深めれば、他に類を見ない遠野ならではの魅力が引き立つと考えています。遠野随一の集客施設・風の丘も、改修後に「文化」「食」を中心に魅力向上させ、地域観光や物産振興につなげる計画を検討中です。

遠野に腰を据えて遠野の魅力を磨き上げます。ぜひ、おすすめの場所や体験を教えてください。



株式会社 遠野ふるさと商社

一般社団法人 遠野ふるさと公社

●インタビュー

このたび、公益性と収益性の観点から、本公社に2施設を残して改革を進めることとなりました。ふるさと村は「山里の暮らし体感」をテーマに、南部曲り家を移築して平成8年から一般公開。水光園は「農村活力センター」をテーマに、水道施設との複合施設として昭和56年から市民の憩いの場を提供してきました。

時代とともに市民ニーズや観光動向が変化する中でもう一度原点に立ち返り、「古くて新しいものは光り輝く」という思いのもと改革を推し進めてまいります。皆さまのご理解・ご支援をお願いいたします。

「古くて新しいものは光り輝く」



一般社団法人
遠野ふるさと公社
理事長

大里 政純 さん

改革内容を紹介します！

経営改革の経過

- 平成28年 東北銀行から中小企業診断士を招き、ふるさと公社の経営分析に着手
- 平成30年8月 市役所内にプロジェクトチームを設置
- 11月 プロジェクトチームが課題と改革の方向性を報告
- 平成31年6月 東北銀行、日本人材機構、市、公社による経営改革組織を立ち上げ
- 9月 同組織が「経営改革3カ年計画」を策定
- 12月 REVIC、岩手銀行、東北銀行、市、ふるさと公社による経営改革実行組織を立ち上げ
- 令和2年3月 「経営改革3カ年計画」の検証結果をもとに、「経営改善3カ年計画」を策定。30日理事会で議決
- 4月 ふるさと公社の経営改革に係る連携協定を締結（株式会社観光産業化投資基盤、岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、花巻農業協同組合、市、ふるさと公社）
- 7月 「株式会社遠野ふるさと商社」が設立
- 8月 19日、ふるさと商社株主総会、同取締役会が開催され、経営改善に向けた本格的推進体制が確立

レビック REVICとは

（地域経済活性化支援機構）

- 官民ファンド（基金）
- 事業再生のプロ

地域経済の継続的な活性化のため、事業者や金融機関に専門的な支援をする官民ファンド（国の政策に基づいて政府と民間が共同で出資する機関）

News

観光遺産産業化ファンド
初の支援対象は、遠野！

REVICは昨年6月、事業者への投資資金「観光遺産産業化ファンド」を設置。同ファンドは、日本独自の観光資源を外国人誘客・観光消費額増大を応援するための基金です。遠野の資源には可能性があると思われ、同ファンド初の支援対象に決まり、遠野の注目度アップが期待されます！

